

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ 研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	原発性肺癌に対する術前治療の手術療法への影響および効果の検討
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) 呼吸器センター (職名) 准教授 (氏名) 大谷真二
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2026 年 12 月 31 日
対象となる方	2011 年 1 月から 2025 年 7 月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち肺がんの手術を受ける前提に治療を行った患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等 (
研究の概要 (目的・方法)	この研究では、手術前に行った治療の種類（抗がん剤や放射線、免疫の働きを利用する治療など）や、手術の方法によって、手術が予定通り行えたかどうか、手術のあとの経過（再発の有無や体への影響など）に違いがあるかを調べることを目的としています。 以下の項目について、既存の情報を取得して解析を予定しています。 1) 患者基本情報：年齢、性別、既往歴/併存疾患、身長、体重、喫煙歴、投薬歴、等 2) 術前情報：血液検査、呼吸機能検査、心機能検査、6 分間歩行検査、画像情報、PS、術前治療の内容および有害事象と追加治療、等 3) 腫瘍情報：組織型、病期、等

	<p>4) 手術情報：術式（開胸コンバートの有無），手術時間，出血量，周術期合併症，等</p> <p>5) 術後情報：生存情報，死因，肺がん再発の有無，術後在院日数，在宅酸素療法の有無，呼吸機能検査，心機能検査，6分間歩行検査，PS，手術関連合併症，画像情報，等</p>
個人情報の保護について	<p>この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。</p> <p>また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。</p>
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院呼吸器センター 大谷真二 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5331